

ハルナ ペイシア 前橋国際大

# Z世代照準に「共愛果茶」



完成した商品を手笑顔を見せる学生チーム(左から2〜5人目)と関係者

## 共同開発第2弾きょう発売

清涼飲料水メーカーのハルナプロデュース(高崎市

足門町)、ペイシア(前橋市

亀里町)、共愛学園前橋国際

大(同市小屋原町)の3者

は、10〜20代の「Z世代」を

照準に飲料「共愛果茶Tea

Ade(ティーエード)」

を共同開発した。3者での

商品化は2024年10月以

来、2回目。27日にペイシア

限定商品として全国138

店舗で発売する。

Z世代に「刺さる」商品にするため、学生自らの感覚を生かしつつ企業の助言を

27日発売の「ティーエード」3種。中央は新味の「ジャスミン茶×ライチ」



受け具現化した。新商品は「ウロン茶×白桃」「紅茶×白アドウ」「ジャスミン茶×ライチ」の3種。各500mlで106円。累計19万本を売り上げた第1弾の完成から約半年後の25年4月から約1年をか

け改良。好評だった白桃、白アドウを今回も使い、新たにライチを採用した。パッケージデザインは学生の感覚を反映しようと、他世代の購買行動を調査比較して商品に落とし込んだ。同大で26日に開いた商品発表会で、学生4人が充実の表情でPR。鈴木結菜さん(4年)は「店頭に並ぶ

までの大変さと多くの助言があつて商品が生まれた。とても幸せ」と話した。第1弾の取り組みが縁で入社した同大卒業生で、ハルナプロデュースの長坂海穂さん(23)は「重圧もあつただろうが、思いを詰め込むことができたのだと思う」と目を細めた。(北沢彩)

2026年(令和8年) 5月27日(水曜日)

上 毛 楽 行 乃 門